

2026年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月14日

上場会社名 株式会社プログリット
 コード番号 9560 URL <http://www.progrit.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡田 祥吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 谷内 亮太 E-mail ir@progrit.co.jp
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家向けライブ配信及び当社サイト動画掲載)
 (百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第1四半期の業績 (2025年9月1日～2025年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|-------|--------------------|-------|-----|--------|------|
| 2026年8月期第1四半期 | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年8月期第1四半期 | 1,676 | 17.9 | 448 | 0.8 | 450 | 1.0 | 309 | △5.6 |
| 1株当たり四半期純利益 | | | | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | | | | |
| 2026年8月期第1四半期 | 円 銭 | | 円 銭 | | 円 銭 | | 円 銭 | |
| 2025年8月期第1四半期 | 24.98 | | 24.64 | | 25.60 | | 26.25 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|---------------|-------|--|-------|--|--------|--|
| 2026年8月期第1四半期 | 百万円 | | 百万円 | | % | |
| 2025年8月期 | 4,265 | | 2,367 | | 55.0 | |

(参考) 自己資本 2026年8月期第1四半期 2,345百万円 2025年8月期 2,261百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2025年8月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年8月期 | — | 0.00 | — | 19.00 | 19.00 |
| 2026年8月期(予想) | | 11.00 | — | 11.00 | 22.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の業績予想 (2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-----|---|------|---|------|---|-------|---|------------|
| 通期 | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧下さい。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2026年8月期 1Q | 12,670,711株 | 2025年8月期 | 12,662,911株 |
| 2026年8月期 1Q | 276,868株 | 2025年8月期 | 276,868株 |
| 2026年8月期 1Q | 12,386,330株 | 2025年8月期 1Q | 12,480,827株 |

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

(決算説明会内容の入手について)

当社は、2026年1月14日（水）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

上記説明会のほかにも、当社では個人投資家のみなさま向けに、定期的に事業・業績に関する説明会を開催しています。この説明会で配付する資料および主な質疑応答は、開催後速やかに当社ウェブサイトで掲載する予定です。

今後の開催の予定等については、当社ウェブサイトをご確認ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (第1四半期累計期間) | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 7 |
| (セグメント情報等の注記) | 7 |
| (重要な後発事象) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における当社が事業展開しております英語学習市場におきましては、少子高齢化による国内市場の先行き不安がある中で企業の海外進出意欲は依然として高く、グローバル人材の育成・確保に向けた英語教育への関心は根強いものがあります。さらに、福利厚生の一環として英語学習を導入する企業も増加傾向にあり、個人の学習意欲もグローバル化の進展に伴い高水準を維持しております。これらの背景から、英語学習市場全体は今後も堅調な成長が見込まれます。

生成AIの発展に伴い、英語教育業界にも変革が予想されますが、当社といたしましては英会話市場が縮小することはないと見込んでおります。特にビジネス領域では、人ととの対話が不可欠であり、英語力向上へのニーズは今後も継続すると考えております。そのため、AIを活用して学習効率や体験価値を高めることが、今後の競争力強化の鍵となります。

当社が参入いたしましたAI英会話サービス領域におきましては、AIの精度による差別化が難しい一方で、UI/UXの洗練が競争優位性を左右すると認識しております。また、テクノロジーの進化に関わらず、成果を出すためには学習時間の最大化が欠かせない要素であり、コンサルタントによる伴走型支援の重要性は今後も変わらないと考えております。

このような市場環境の中、英語コーチングサービス「プログリット」では、短期間で英語力を飛躍的に向上させるために、①英語学習を継続させる習慣を身につけるためのコンサルタントによるサポート、②顧客ごとにカスタマイズしたカリキュラムの設計、③利便性の高い学習アプリによる学習環境、という主に3つの特徴において、継続的な品質向上と改善に取り組んでおります。

また、リスニング力強化に効果的なシャドーイングに特化したサブスクリプション型サービス「シャドテン」では、コンテンツの拡充やアプリの顧客体験改善等を通じて平均継続期間が伸びており、有料課金ユーザー数も堅調に推移しております。これにより、当社の収益基盤として順調に成長を遂げております。

加えて、スピーキング特化型サービス「スピフル」及びAI英会話サービス「ディアトーク」も順調に事業を展開しております。スピフルは、スピーキング力向上に不可欠な口頭英作文(注1)と独り言英会話(注2)を実践し、AIによる添削で振り返りを行うサブスク型サービスとして、ユーザー数を着実に拡大しております。ディアトークは、AI講師が学習者の興味関心や近況を分析・記憶し、最適な英会話実践の場を提供するサービスで、現在は機能改善や新規開発を進めており、今後の成長に向けた展開を図っております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,676,637千円(前年同四半期比17.9%増)、営業利益は448,785千円(前年同四半期比0.8%増)、経常利益は450,222千円(前年同四半期比1.0%増)、四半期純利益は309,450千円(前年同四半期比5.6%減)となりました。

なお、当社は英語コーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(注) 1. 口頭英作文：日本語の文章を瞬時に英語に変換し、発話するトレーニングです。

2. 独り言英会話：自分で選んだお題について1分間英語でスピーチを行うトレーニングです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は4,265,725千円となり、前事業年度末に比べ220,276千円減少しました。これは主に、現金及び預金が257,341千円、未収入金が14,788千円減少し、売掛金が39,682千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は1,897,915千円となり、前事業年度末に比べ307,353千円減少しました。これは主に、未払金が119,880千円、未払法人税等が83,149千円、契約負債が68,946千円及び賞与引当金が43,509千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は2,367,810千円となり、前事業年度末に比べ87,076千円増加しました。これは四半期純利益により利益剰余金が309,450千円増加し、配当金の支払いにより利益剰余金が235,334千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月9日に発表しました通期の業績予想につきましては、現時点にて変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2025年8月31日) | 当第1四半期会計期間 (2025年11月30日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流动資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,415,606 | 3,158,265 |
| 売掛金 | 131,028 | 170,710 |
| 商品 | 16,358 | 21,388 |
| 貯蔵品 | 3,259 | 2,747 |
| 前払費用 | 86,693 | 101,658 |
| その他 | 47,312 | 32,411 |
| 流动資産合計 | 3,700,259 | 3,487,182 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 225,223 | 225,223 |
| 減価償却累計額 | △66,746 | △70,695 |
| 建物（純額） | 158,477 | 154,528 |
| 工具、器具及び備品 | 62,205 | 64,243 |
| 減価償却累計額 | △17,390 | △20,407 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 44,815 | 43,836 |
| 有形固定資産合計 | 203,292 | 198,365 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 34,990 | 34,990 |
| 出資金 | 20 | 20 |
| 長期前払費用 | 730 | 443 |
| 繰延税金資産 | 202,199 | 202,199 |
| 敷金 | 343,711 | 341,562 |
| その他 | 800 | 961 |
| 投資その他の資産合計 | 582,451 | 580,177 |
| 固定資産合計 | 785,743 | 778,542 |
| 資産合計 | 4,486,002 | 4,265,725 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2025年8月31日) | 当第1四半期会計期間 (2025年11月30日) |
|-----------------|-----------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 43,425 | 37,281 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 75,828 | 73,278 |
| 未払金 | 312,013 | 192,132 |
| 未払費用 | 181,700 | 179,195 |
| 未払法人税等 | 236,921 | 153,772 |
| 契約負債 | 941,736 | 872,790 |
| 預り金 | 31,481 | 76,194 |
| 賞与引当金 | 93,502 | 49,993 |
| その他 | 108,523 | 100,224 |
| 流動負債合計 | 2,025,133 | 1,734,862 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 173,714 | 156,632 |
| 資産除去債務 | 6,421 | 6,421 |
| 固定負債合計 | 180,135 | 163,053 |
| 負債合計 | 2,205,269 | 1,897,915 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 346,393 | 346,978 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 343,393 | 343,978 |
| その他資本剰余金 | — | 8,862 |
| 資本剰余金合計 | 343,393 | 352,841 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 1,871,763 | 1,945,878 |
| 利益剰余金合計 | 1,871,763 | 1,945,878 |
| 自己株式 | | |
| 株主資本合計 | △300,279 | △300,279 |
| 新株予約権 | 2,261,270 | 2,345,419 |
| 純資産合計 | 19,462 | 22,390 |
| 負債純資産合計 | 2,280,733 | 2,367,810 |
| | 4,486,002 | 4,265,725 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

| | (単位：千円) | |
|--------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| | 前第1四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日) | 当第1四半期累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日) |
| 売上高 | 1,421,840 | 1,676,637 |
| 売上原価 | 356,007 | 412,011 |
| 売上総利益 | 1,065,833 | 1,264,625 |
| 販売費及び一般管理費 | 620,517 | 815,840 |
| 営業利益 | 445,316 | 448,785 |
| 営業外収益 | | |
| ポイント還元収入 | 628 | 1,428 |
| その他 | 40 | 554 |
| 営業外収益合計 | 669 | 1,983 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 337 | 545 |
| 営業外費用合計 | 337 | 545 |
| 経常利益 | 445,647 | 450,222 |
| 税引前四半期純利益 | 445,647 | 450,222 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 117,985 | 140,772 |
| 法人税等合計 | 117,985 | 140,772 |
| 四半期純利益 | 327,662 | 309,450 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前四半期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費及びその他の償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日) | 当第1四半期累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日) |
|----------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 減価償却費及びその他の償却費 | 13,675千円 | 9,112千円 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、英語コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2025年11月26日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行うことについて決議し、以下のとおり自己株式の処分を実施いたしました。

1. 処分の概要

| | |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 割当日 | 2025年12月26日 |
| (2) 処分する株式の種類及び数 | 当社普通株式 34,352株 |
| (3) 処分価額 | 本自己株式処分は、当社の取締役の報酬等として当社の普通株式を処分するものであり、当該普通株式と引換えるに於ける金銭の払込み又は財産の給付を要しません。 ※ 当該普通株式の公正な評価額は、本自己株式処分に係る取締役会開催日の前営業日（2025年11月25日）における東京証券取引所における当社の普通株式の終値である946円であり、その総額は32,496,992円です。 |
| (4) 割当先 | 取締役3名 34,352株 ※ 社外取締役を除きます。 |

2. 処分の目的及び理由

当社は、2024年11月5日開催の取締役会において、役員報酬制度の見直しを行い、取締役報酬額の改定及び譲渡制限付株式報酬制度の導入を決議しました。また、取締役報酬額の改定及び本制度の導入に関する議案を2024年11月27日開催の第8回定期時株主総会に付議し、決議されました。当該自己株式の処分は、当社の取締役(社外取締役を除きます。)に、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めること、及び当社の業績と取締役の報酬との連動性を明確にすることを目的として割り当てるものであります。